

この文書は新聞・雑誌その他ジャーナリスト様宛にお送りしております。

News Release

2007年12月3日（月）

全従業員を「エコ社員」に育てる教育ツール 「エコモチ」が12月13日デビュー

株式会社フルハシ環境総合研究所（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役：船橋康貴）が発案し、30を超える企業・団体の共同研究によって育てられた「企業人のエコ・モチベーションアップ」システム、通称エコモチが、来週12月13日より会員募集を正式スタート、入会受付を開始します。14日にはエコプロダクツ2007会場隣接の会議室にて先着100名限定のキックオフイベントを開催します。（取材歓迎）

■ CSRのお悩み解決！ 「エコモチ」のご紹介

様々なエコ・アクションメニューから、社員が自らのレベルや関心に合わせてマイメニューを作成し、実践できたかどうかをボタンクリックで申告できるという企業向けWebシステム。社員のエコ・アクションを「見える化」する画期的な仕組みです。実践したアクションの数に応じて「シード」という単位のポイントが発行されます。シードは環境保護、貧困撲滅、教育支援、医療支援などの活動を行うNPO/NGOに社員自らの意思で寄付できます。寄付金は会社が負担します。携帯Webにも対応予定です。

エコモチをより多くの企業で導入可能な汎用性の高いシステムへと育てるため、2007年1月に異業種企業のCSR・環境担当者たちによるコンソーシアム（共同研究体）を立ち上げ、エコモチの仕組みについて様々な議論を重ね、具体化させていきました。

計526名の各社従業員モニターを対象に、エコモチのテストランニングを実施。その結果、8割を超える参加者に環境意識向上・行動促進の成果がみられました。

テストランニングはコンソーシアムに参加する企業のうち下記9社が実施しました。

【テストランニング実施企業】味の素株式会社、NEC パーソナルプロダクツ株式会社、小林クリエイト株式会社、株式会社JTB 関東、積水化学工業株式会社、ソニー株式会社、株式会社ソニー・ミュージック コミュニケーションズ、トステム株式会社、株式会社フルハシ環境総合研究所



▲寄付先のNGO団体よりいただいた感謝状、御礼状

エコプロダクツ2007では「学びの原点」エリアに出展するほか、14日に会場隣接の会議室にてキックオフイベントを開催、エコモチシステムを利用する企業会員を広く募集します。

[URL] <http://www.ecomoti.jp>（12月3日より公開）

1 エコアクションメニューからチャレンジする行動をえらぶ

2 社員が楽しくエコ・アクション全員参加で活動！

3 エコモチのWebにアクセスし実践したメニューをクリック

4 シード（ポイント）がどんどん貯まる！

5 シードを世界のほっとけない問題解決のために寄付する

6 ありがとうの思いが戻ってくる世界とのつながりを実感！

エコモチプロジェクトの概要

1 事業名	企業人のエコ・モチベーションプロジェクト「エコモチ」
2 事業実施主体	団体名：株式会社フルハシ環境総合研究所（エコモチ事務局） 代表者氏名：船橋 康貴 連絡先氏名：上野 友紀子 住所：〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 2-8-5 エビス・S&S・ウエスト 3F 電話：03-3780-9733 / FAX：03-5728-3414 / E-mail：ecomoti@fuluhashi.jp
3 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業人のエコ・モチベーションアップ 「環境の意識や行動が社内に浸透しない」という企業共通の課題を解決 ● 世界の課題に対する企業人の気づきを促進 国連ミレニアム開発目標（MDGs）達成に向けて、課題となっている「企業の社会的責任」を一人ひとりが考えるきっかけに ● 企業、NPO/NGO 連携のプラットフォーム 環境、社会貢献、企業の社会的責任をテーマにした企業や NPO/NGO 連携の裾野を広げる苗床に
4 事業の内容	エコモチはあらゆる企業において導入可能な、社員のエコ行動を促進する仕組みです。従業員が実践した環境行動の定量化（シードという単位のポイント付与）とシードの還元（NPO/NGO への寄付またはカーボンオフセット認証取得）の仕組みを Web サイト上で運営します。 また、企業連携および NPO/NGO 連携を図るための場作りやキャンペーンの企画・実施などを行うプラットフォーム運営を中心に活動を展開します。
5 事業の特色	<p>■独自性 ポイント制度は通常、ポイントが換金されたりモノと交換できたりする、「もらう型インセンティブ」の制度ですが、エコモチは自らのアクションによって貯めたポイントを世界の困っている人々に差し出す点が大きな特徴です。参加者は自分が社会に役立っているという意識、世界とつながっているという意識を持つようになり、これが心理的なインセンティブとしてエコ行動実践の動機に結びつきます。</p> <p>■事業継続性・発展性 エコ・アクションメニューを月替わりにする、成果をフィードバックする、コミュニティ機能を持たせるなどの工夫により参加者を飽きさせない継続的な事業進展を目指します。エコモチの運営についてアドバイザーボードを設け、仕組みの維持向上を図っていきます。エコモチは国内の企業だけでなく、既にヨーロッパ、アジア諸外国の企業から高い関心が寄せられています。日本発の社会システムとして国際的発展を目指します。</p> <p>■実証実験結果 9社がエコモチのテストランニングを実施し、計526名の社員モニターが参加しました。「意識が変わった」「意識だけでなく行動が変わった」と答えた人が全体の8割を超えました。また、環境・教育・人道支援の3分野から1団体ずつNPO/NGOを寄付先メニューに並べ参加者に選ばせたところ、それぞれの団体・活動がほぼ同じ割合で選択されました。「コンセプトが良い、有効な仕組みである」といった声やエコモチの拡大・継続実施を望む声が多く寄せられ、効果の高い仕組みであることが実証されました。</p>

■ 株式会社フルハシ環境総合研究所について

設立 : 2001年4月
 資本金 : 1,000万円
 代表 : 代表取締役 船橋康貴
 従業員数 : 16名
 本社 : 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 金山総合ビル7F
 東京事務所 : 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-5 エビス・S&S・ウエスト3F
 事業内容 : 環境経営コンサルティング、環境教育、調査・研究

株式会社フルハシ環境総合研究所 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-5 エビス・S&S・ウエスト3F TEL : 03-3780-9733 FAX : 03-5728-3414	http://www.fuluhashi.jp E-mail : ecomoti@fuluhashi.jp 担当 : 上野
---	---